

「人生って何だろう」

3年 M.S

自分の人生について考えたことはありますか。将来の夢や、進路についてなどは考えたことがあると思います。しかし、そもそも人生って何だろうとは、そう考えることがないのではないのでしょうか。

私は中三になり、自分の進路について考える機会が増えました。勉強はどんどん難しくなり、先生からは「高校生になったら義務教育ではなくなる。大学受験のことを考えて勉強なさい。」などといわれ、日々、勉強に対する重みを感じています。そんな中、なぜ私は勉強するのだろうかと考えました。立派な大人になるため、社会の役に立つため、というのが一般的な考えだと思いますが、そのような理由だけではないと、私は考えました。勉強をして立派な大人になる。なぜ人はこれを目指すのかということです。エジソンや野口英世などといった、いわゆる偉人といわれる人々は、勉強をして立派な大人になっています。しかし、「私は偉人になりたい」と思っている人はそう多くないと思います。別に偉人になりたくて、勉強をして立派な大人になる道を目指してはいないと思います。ではなぜ人はこの道を目指すのか。私はその理由を、「自分を好きになるため」と考えます。勉強をして立派な大人になる。これは充実した人生だと思います。そして、たいていの人がうらやましがる人生です。人は他人よりも優れていたいと思う生き物です。そのため、他人にうらやましがられたりすると、「自分は正しい」と思い、自信がつきます。この自信の積み重ねが、自分の人生をどう思うかにかかわってくると思います。

皆さんにも、この自分は好き、この自分は嫌いなどがあるのではないのでしょうか。例えば、好きなことに熱中している自分が好き、明るく楽しく笑っている自分が好き、イライラしている自分が嫌い、何かに失敗した時の自分が嫌いなどです。「自分という存在が嫌い」と思う人はいないはずですが、たった一つでも、この自分は好きと思えるものがあるはずですが。この、「自分が好き」が増えることで、自信がつき重なります。人は、「自分が好き」を増やすために、勉強をしているのではないのでしょうか。私がここで言いたい勉強は、学校の授業だけではなく、スポーツや音楽なども含めています。「人生は勉強の連続」という名言があります。私はこの言葉から、将来の職業などはただの結果にしかすぎないのではないかと考えます。なりたい職業につけなくても、その職業でしか学ぶことのできないことがあるからです。その職業につき、自分を好きと思える回数が増えれば、それは充実した人生といえるのではないのでしょうか。

世の中の人々は結果にこだわりすぎていると思います。確かに、頑張れば結果がでたらうれしいです。しかし、結果にこだわりすぎたあまり、自分を好きと思うことができなかつたら、それは充実した人生とはいえないと思います。現に、入りたかった会社に入ったものの、つらくて自殺してしまう人もいます。こういう人達は、仕事をやっている自分を好きとは思っていません。職業を優先するあまり、人生の充実さを失ったら本末転倒だと思います。私は努力した過程が一番大切だと思います。私は努力した過程が一番大切だと思います。その行為一つ一つが、自分を好きになるチャンスではないのでしょうか。

私は正直、自分が好きではありません。けれども、多くの事を通して自分を好きになって
いきたいと思います。